



知的障がい者施設

鹿児島しようぶ学園

幸福は 日々の 中に。

「普通」という曖昧な海を
泳いでいるみんなへ。



監督・脚本・撮影: 茂木綾子、ヴェルナー・ペンツェル <http://silentvoice.jp/whilewekissthesky/>

録音: ウエヤマトモコ、茂木綾子 編集: 茂木綾子、フリッツ・パウマン 音楽: 福森伸、フレッド・プリス(タイトル音楽) 演奏: otto&orabu、フレッド・プリス(タイトル音楽)

制作: silent voice, werner penzel film production プロデューサー: 相澤久美、芹沢高志、ヴェルナー・ペンツェル 配給: silent voice 宣伝: 佐々木環都

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金、日本財団 2015/日本/カラー/73分/16:9/HD ©silent voice/werner penzel film production

日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

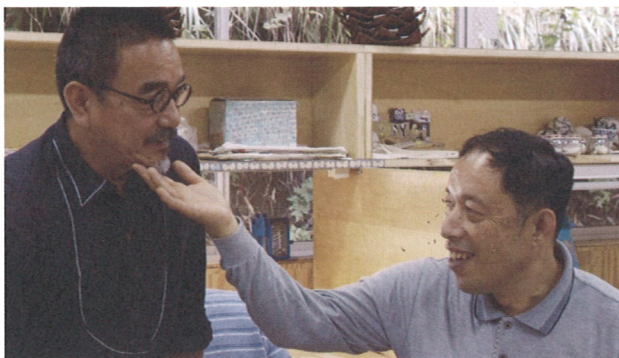
文化庁文化芸術振興費補助金
文化庁 Agency of Cultural Affairs, Government of Japan

知的障がい者施設

鹿児島しょうぶ学園

幸福は日々の中に。

僕たちは、彼らに社会の秩序というものを教える立場ではない。彼らから精神的な秩序を学ぶべきだ。 学園長 福森伸



時が止まったような不思議な居心地の良さ、もしかしたら未来の世界なのか、そんな目眩のような感覚に 襲われるのは何故だろう。しょうぶ学園では「ノーマル」と「スペシャル」の境界を超えて、私たちは「人」として日々なを共有しているのか再確認することができる。

現代社会はさまざまな局面で、寛容さを失い始めているように思えてならない。この作品は、多様さとか寛容さとはなんなのか、説明抜きに伝えてくれるだろう。



今まで当たり前だと信じてきたことが、少し違った風景となり見えてくるかもしれない。

しょうぶ学園のアート、クラフト作品の展示は東京都美術館の「楽園としての芸術」展(2015年)をはじめ全国各地で開催され、nui projectのシャツは初日でほぼ完売が定番。音楽隊のotto&orabuも日本各地で公演し、音楽家の高木正勝やUA、おおたか静流らとの共演も多数。アート、クラフト、音楽ともに全国に熱烈なファンを持つ。作品に魅了されしょうぶ学園を訪れた人々は、園生が働くカフェでパスタを食べながら「人生が変わるような体験」と思わず口に出す…。不思議な風景に出会う73分。

90年代に伝説となったインディペンデント映画『ステップ・アクロス・ザ・ボーダー』を制作したドイツ人映像作家ヴェルナー・ペンツェルと、『島の色豊かな声』(08)を制作した、写真家でもある茂木綾子による共同監督作品。

芸術という行為は、心の奥底で震えている命の鼓動の発散なのだと思う。

その鼓動を心から外に出すためには、心の摩擦がない

とても純粋な心の通り道が必要な気がする。

ミナ ペルホネン 皆川明



しょうぶ学園とは? (鹿児島市吉野町)
障がいを持つ人たちが地域社会でよりよく暮らしていくために、友好的で安全で、のびのび過ごせる環境を提供している。ものづくりを通じ、人が本質的に備えている創造する力を引き出し、協働を通してよこごびをわかちあえるコミュニティーづくりを実践している。人と人がささえあい、つながりあい、つくりだす暮らし、創造的な福祉事業の可能性に貢献し続けている。敷地内には、入所、通所のための施設に加え、カフェ、ペーカーリー、蕎麦屋、工房、ギャラリー、ショップなどが点在する。園生と職員による音楽隊otto&orabuは日本各地で公演している。



2/10(土)	2/11(日)~16(金)	2/17(土)~23(金)
17:25	15:05	15:40

※各回入替制です いずれも火曜休館
<料金> 一般1700円、学生1400円、シニア1100円

『幸福は日々の中に。』
神戸上映記念トークイベント

しょうぶ学園の福森伸施設長、両監督を招いて開催!
日時:2018年2月10日(土) 17:25~の上映終了後参加費:無料

神戸アートビレッジセンター
JR「神戸」から徒歩10分
神戸高速「新開地」から徒歩5分
078-512-5500
詳細はお問い合わせください